



野月 一博
(高志会)

定住自立圏形成から一年

その実績は

「できることから着実に」
各事業を進めている

議員 定住自立圏について、昨年度「できることから着実に」ということで、当初ビジョンに掲載された事業の実現を図ることになっているが、その実績は。

市長 共生ビジョン策定から一年が経過し、中心市である三沢市との連携のもと、圏域市町村の理解を得ながら着実に取り組みを進めています。共生ビジョンに掲げている三十事業のうち、十八事業は定住自立圏形成前から実施し、継続している事業です。一方、新規十二事業のうち、図書館の相互利用などの七事業が実施済みであり、広域観光の推進などの五事業が現在協議中です。

議員 合併して十年経つが、合併以前の旧市、旧

町の歴史的な記録や写真などの参考資料はどのように管理されているのか。

総務部長 旧市の資料については郷土館が歴史的な資料を収集、所蔵しているほか、古文書や各種記録などは市民図書館で所蔵しているものもあります。旧町のものについては、現在郷土館で管理しています。それ以外の参考資料となる行政文書については、規則等によって適正に管理しております。広報誌や市勢要覧等の作成で使用した写真などの画像も保管、管理しています。

議員 子供たちが本物の芸術に触れる機会が減っていると感じるが、教育委員会以前実施していた芸術鑑賞教室を再び実施する考えはないか。

教育長 現在各学校において、国の事業等を活用するなど、さまざまな形で芸術鑑賞の機会を設けています。また、中学校では東京方面への修学旅行の際にミュージカル鑑賞を設定するなどの工夫をしています。今後とも各学校の自主性を生かした形で芸術鑑賞機会を設けることができるよう、積極的な情報提供等に努めたいと考えます。



定住自立圏としてさらなる取り組みを

市民屋内グラウンドの今後は (西三番町)

庁内組織にて現在検討中



小村 初彦
(公明党)

議員 平成二十五年度耐震診断結果報告において、市民屋内グラウンドは大規模な地震等で倒壊の危険性が非常に高く、補強が非常に困難であるため、解体または建てかえが必要とのことだが、どのく

らの費用がかかるのか。

教育部長 解体、新築した場合の費用については、概算では解体に約三千万円、同規模の建物を新築する場合は約三億円とのこと。

議員 今後、どの時期を見込んで新築あるいは解体する計画なのか。

教育部長 今後の整備方針等は庁内で組織する公施設整備計画検討委員会の方針がまとまり次第、早い時期に閉鎖、解体、撤去などについて検討し、利用者にお知らせしたいと考えます。

議員 中央病院の医師確保のためには、医師やその家族が住みやすい環境を整えることが大事だと考えるが、若葉公園付近の医師住宅は築三十年を超え、劣化が激しく、水回りなどの苦情もかなりあると聞いている。整備の具体的な計画はあるのか。

病院事務局長 当院の医師住宅には病院所有のものや民間の賃貸住宅借上げの二種類があり、病院所有の住宅は経年劣化が進んでいる状況です。このことを踏まえ、整備手法ごとのメリット、デメリットや経費比較などの調査、研究を行い、今後の整備方針について検討を重ねているところですが、まだ具体的な計画を示せる段階にはありません。いずれにしても、医師住宅の整備は医師確保のために必要なことであり、また一方で多額の費用負担が生じることから、今後の経営状況を見据えた中で慎重に検討したいと考えています。



早期対策が必要な市民屋内グラウンド